



2023年12月期 第3四半期
決算説明会

2023年11月10日
株式会社アイビス

わたしたちのMISSIONとVISION

MISSION

モバイル**無双**で

世界中に“**ウォ!**”を創り続ける
delivering **WOW** experience on mobile

アイビスはモバイルに精通した技術者集団

イラストは 言語も 民族も 宗教も ジェンダーも関係ない

モバイルペイントアプリで世界のコミュニケーションを創造する

VISION

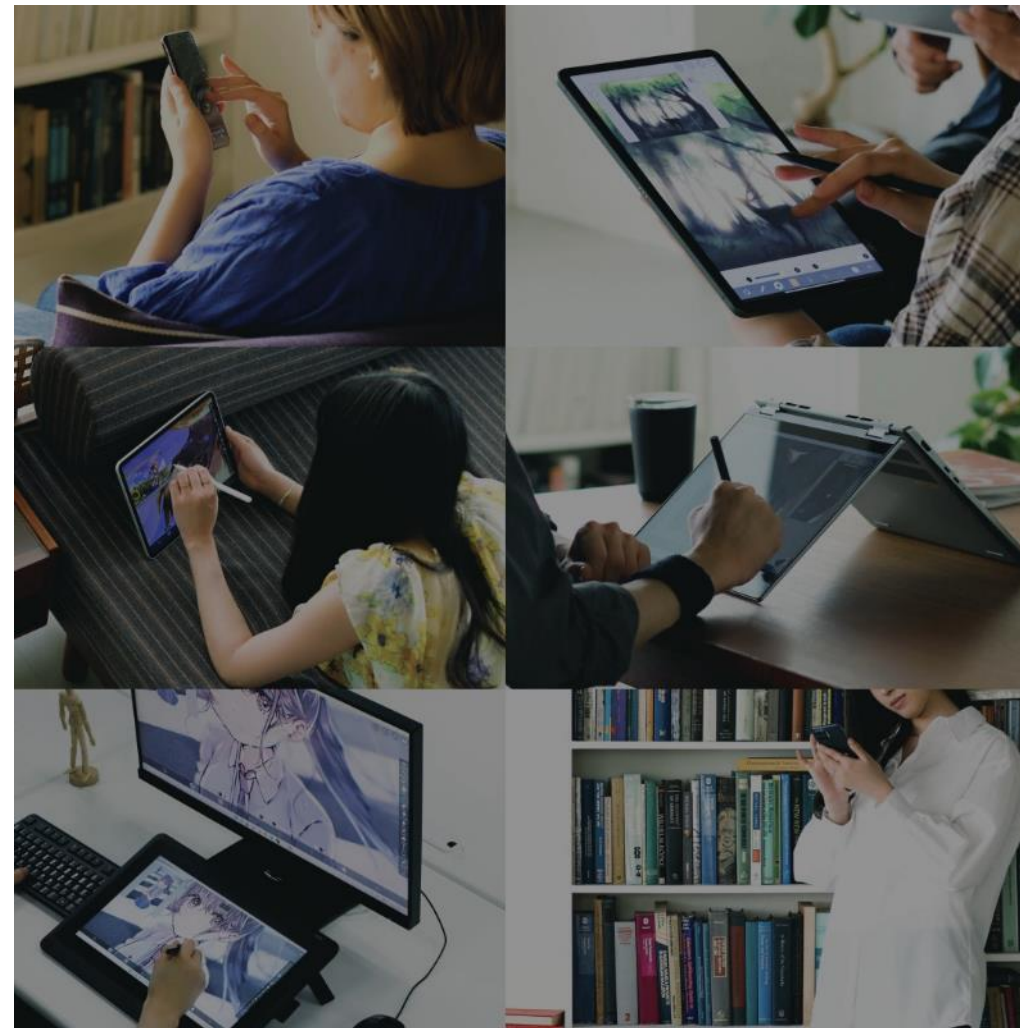
Boost Japanese Tech to the World

アイビスは世界での Made in Japan のプレゼンスを上げていく



会社概要

会社名	株式会社アイビス ibis inc.
設立	2000年5月11日
資本金	375,589,047円
本店所在地	愛知県名古屋市中村区名駅三丁目17番34号
従業員数	300名（内、IT技術者数259名）
事業内容	モバイル事業、ソリューション事業（IT技術者派遣、受託開発）
許認可	労働者派遣事業 許可番号（派23-302244） AWS Select Technology Partner
取締役	代表取締役社長：神谷 栄治 常務取締役：村上 和彦 取締役：丸山 拓也 取締役：安井 英和 取締役（監査等委員）：尾関 一平 社外取締役（監査等委員）：宮崎 陽平（公認会計士） 社外取締役（監査等委員）：近藤 直生（弁護士）
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：9343）
決算日	12月末日
主要株主 （持株比率）	神谷 栄治（52.1%）、村上 和彦（15.5%）



創業来20年以上、モバイルアプリ開発に注力

2000年5月	静岡県浜松市にて有限会社アイビス設立 (モバイル事業 開始)
2001年4月	愛知県名古屋市で株式会社へ組織変更 (ソリューション事業 受託開発サービス 開始)
2001年12月	特定労働者派遣 (特23-020430) 認定 (ソリューション事業 IT技術者派遣サービス 開始)
2002年10月	東京営業所開設
2005年6月	フィーチャーフォン用フルブラウザアプリ「ibisBrowser」リリース
2005年9月	フィーチャーフォン用フルメーラーアプリ「ibisMail」リリース
2007年3月	資本金を9592万5000円に増資
2008年9月	プライバシーマーク (PMS) 取得
2011年6月	「ibisPaint」の初代バージョンをリリース
2014年4月	大阪支社開設
2018年3月	労働者派遣事業 (派23-302244) 許可取得
2020年10月	「ibisPaint」ダウンロード数が全世界で1億突破
2021年12月	「ibisPaint」ダウンロード数が全世界で2億突破
2023年1月	「ibisPaint」ダウンロード数が全世界で3億突破
2023年3月	東京証券取引所グロース市場上場 (証券コード: 9343)

神谷 栄治 / 代表取締役社長



1973年愛知県名古屋市生まれ

名古屋工業大学工学部電気情報工学科卒

小学生の頃からプログラミングが得意で、学生時代からオリジナルソフトウェアを企画から設計・販売し、起業のための資金を調達する

大学卒業後、開発者として数年間会社員経験をするもNTTドコモからのi-mode登場を機にモバイルの時代が来ることを予感し株式会社アイビスを設立

事業概要

モバイルに精通した高いテクノロジーを 地球の裏側まで届けたい

19言語に翻訳され、世界200以上の国と地域にユーザを持つ
モバイルペイントアプリ「ibisPaint (アイビスペイント)」の開発・運営と
企業のアプリ開発を支援する高度な技術のエキスパート集団

ibisPaint

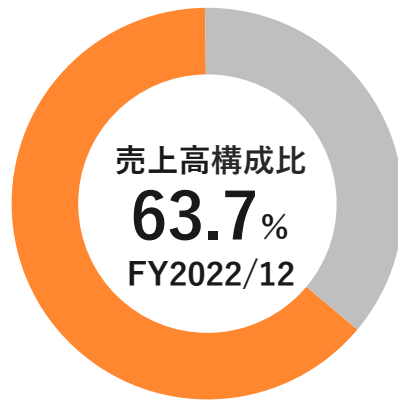
2021年 日本企業発のアプリとして**世界のダウンロード数No.1** ※1
2022年 日本企業発のアプリとして**世界のアクティブユーザ数No.2** ※2
内閣府 クールジャパン・プラットフォームアワード 2023 **優秀賞 受賞** ※3

モバイルとソリューション、2つの事業を展開

アイビスは自社製品のモバイル事業だけではない

長年培ってきたモバイル開発技術・ノウハウを余すことなく企業に提供するソリューション事業も展開

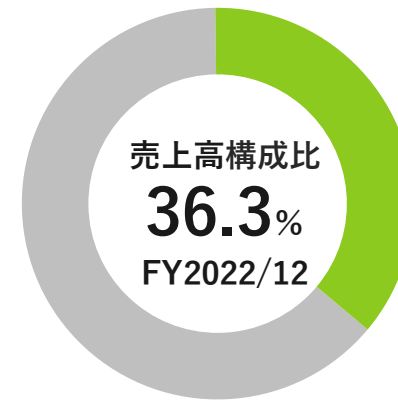
モバイル事業



モバイルペイントアプリ
ibisPaintの開発/運営

成長事業

ソリューション事業



日本企業向けの
IT技術者派遣/受託開発

安定事業

※ FYは「Fiscal Year」の略で事業年度を指す。

高品質なペイントアプリが無料で、指一本で、世界中で使える

「スマホを使って指で描く」ペイントアプリの新しい常識を打ち立てる

端末のスペックに左右されない高品質なペイントアプリの、ほぼすべての機能を無料でお使いいただけます
モバイルに最適化されたUI/UXで、手軽でありながらハイレベルな作業環境を提供します

デジタルイラストを描くユーザの最初の一步をibisPaintと

専用のアプリや機材がなくともデジタルイラストが描けるibisPaintは、
Z世代を中心とした世界中の「お絵描き初心者」のファーストアプリとして寄り添います

指で描く直感的な操作性とibisPaintで実現できるクオリティを動画でご確認ください



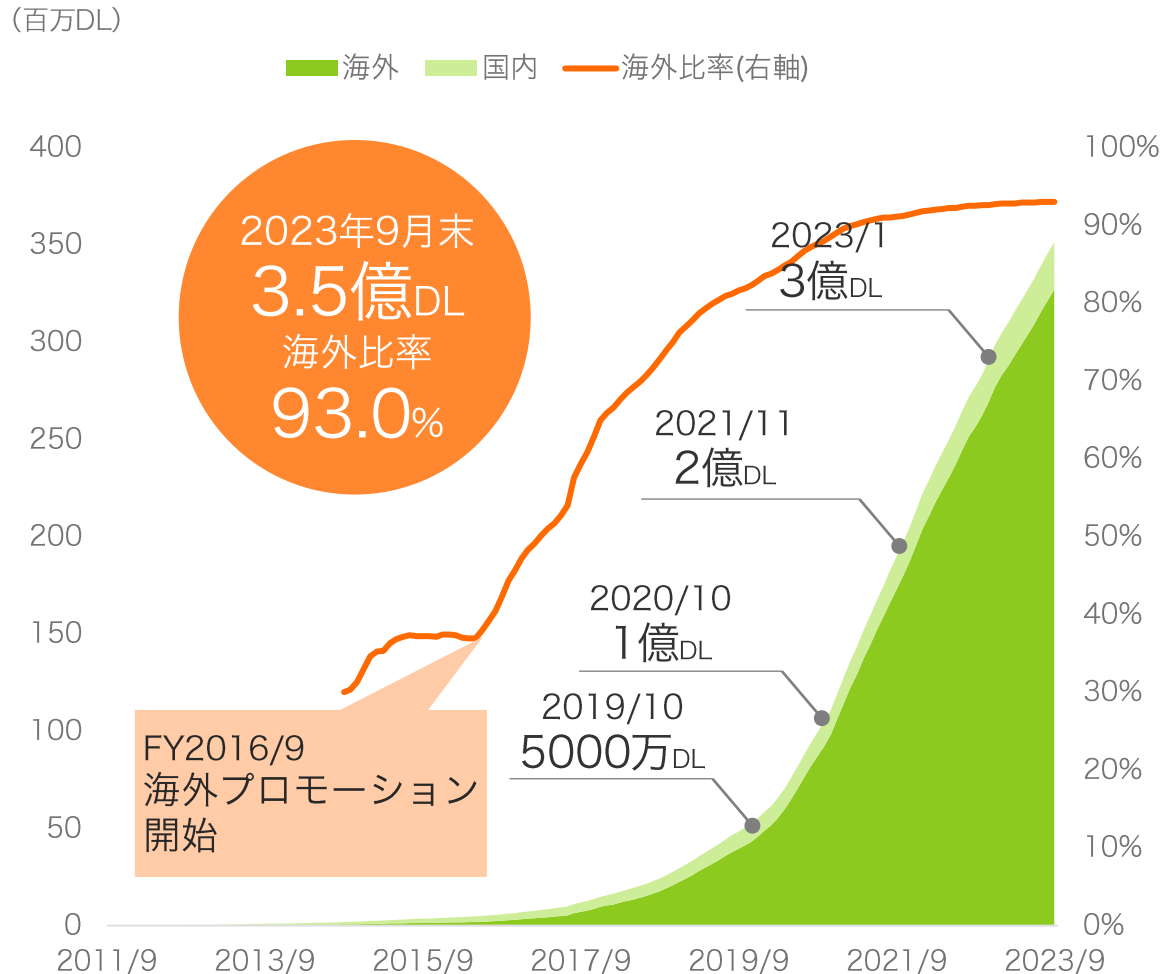
「ibisPaint」の利用イメージ動画（20秒）



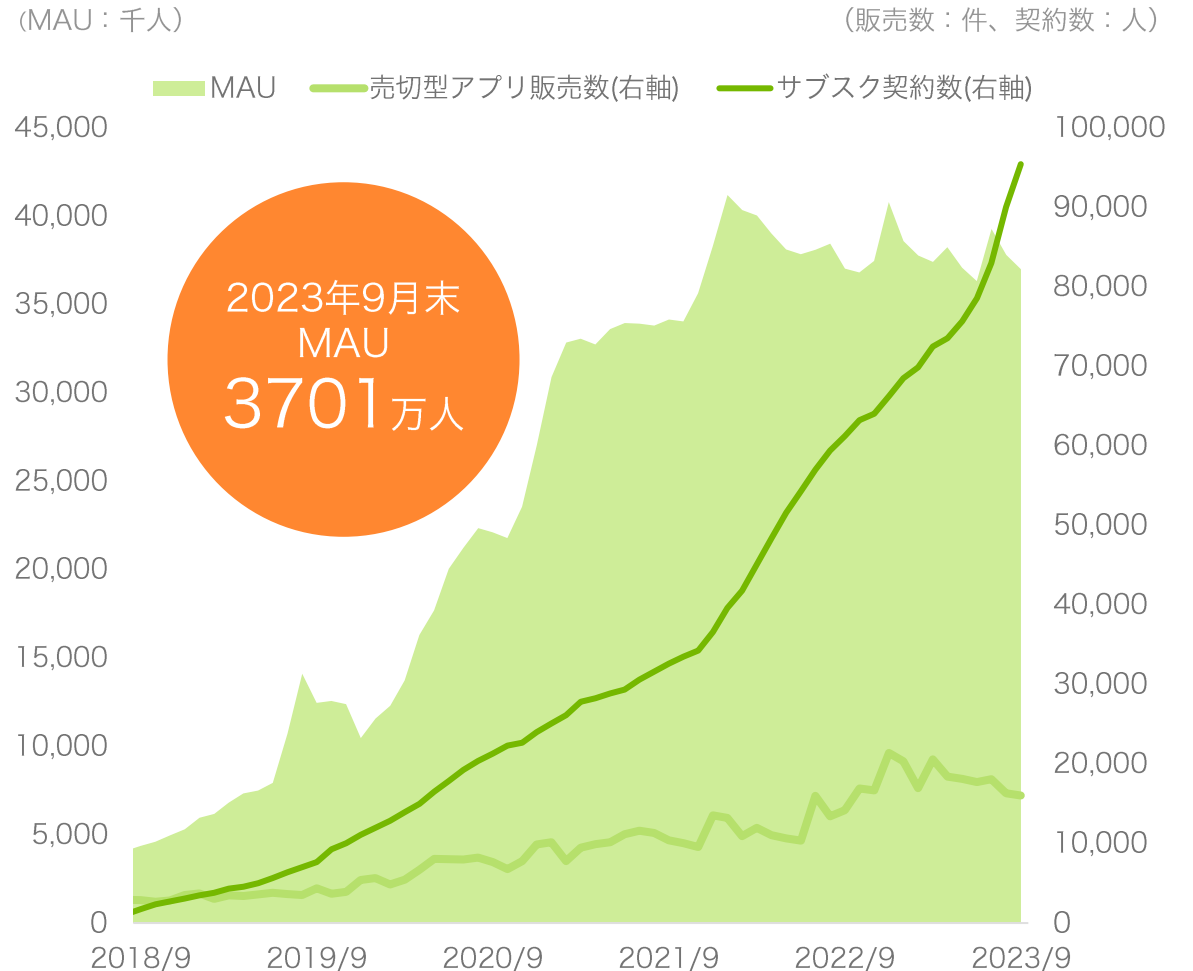
「ibisPaint」の利用イメージ動画（111秒）

世界累計DL数3.5億・MAU3701万、ユーザの獲得・維持が収益の源泉

累計ダウンロード数

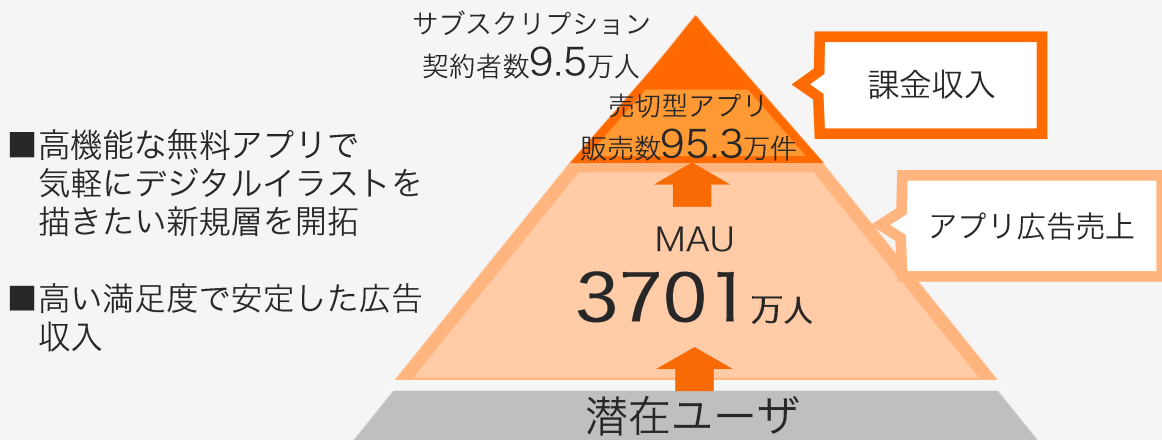


MAU (月次アクティブユーザ)、サブスク契約数等

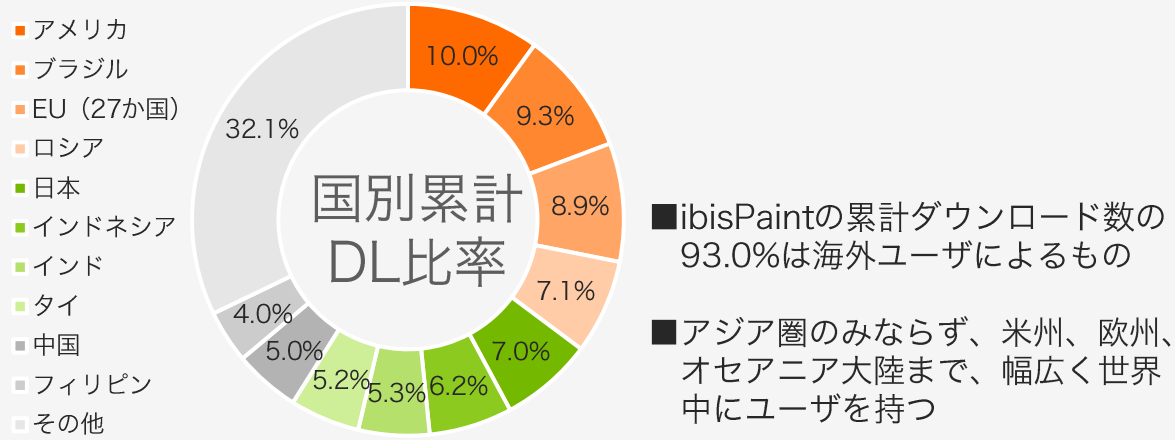


ibisPaintの市場は「世界中の若者」、だから伸び続ける

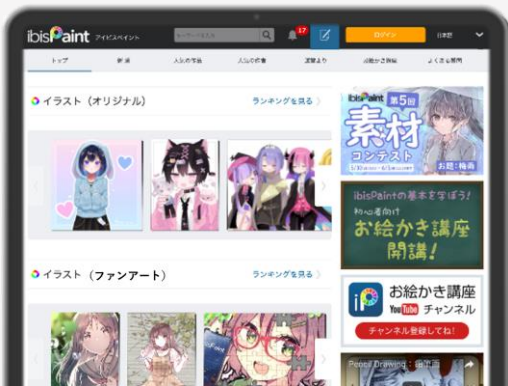
原則無料のフリーミアムモデル



海外展開に成功した稀有な日本製アプリ

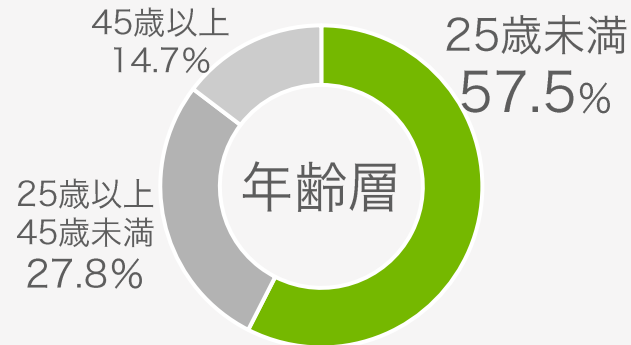


イラスト投稿SNS「ibispaint.com」



- 簡単な操作でibisPaintから自社オンラインギャラリーに作品を投稿
- 世界中のユーザー同士のコミュニケーションで創作意欲を刺激

コアユーザーは世界中のZ世代



- ibisPaintはZ世代のお絵描きのファーストアプリ
- 今後の消費動向を左右するZ世代から大きな支持を得る

iPhone対象(米国)、2023年9月時点。data.ai 調べ

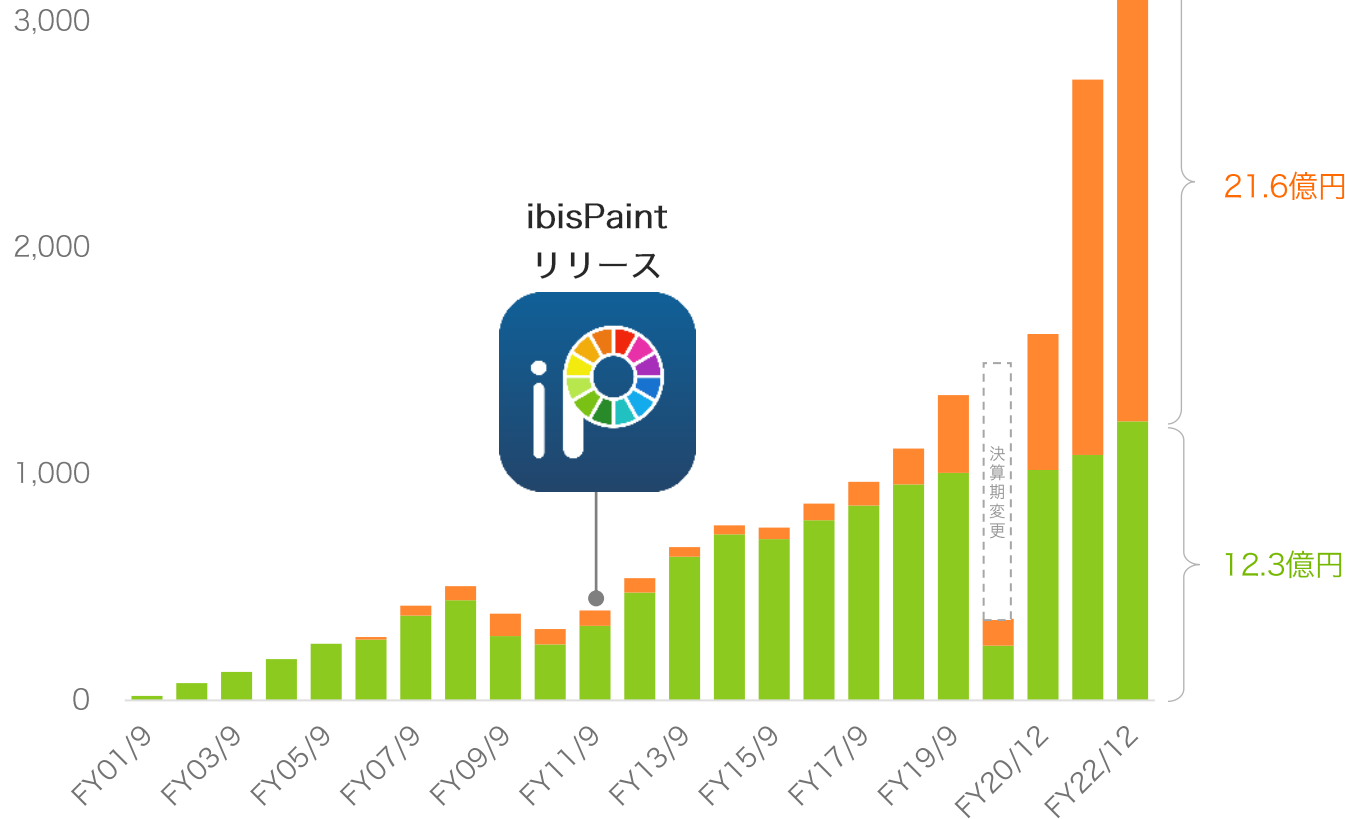
※ 売切型アプリ販売数は累計の販売数。
 ※ 国別累計DL国別累計DL比率は、Huawei分については国別データを取得できないため、便宜上、提供国である中国に全て計上。
 ※ Z世代とは1996年から2010年までに生まれた世代と定義（2023年時点、25歳未満）。

売上高はFY2016/9以降、過去最高を更新中

売上高の設立来推移

(百万円)

■ ソリューション事業売上高 ■ モバイル事業売上高



FY2022/12
売上高
33.9億円

21.6億円

12.3億円

ソリューション事業の安定的な成長に加えて、
2011年のibisPaintのリリース、
海外ダウンロード数拡大により
モバイル事業が成長ドライバーに

決算概要

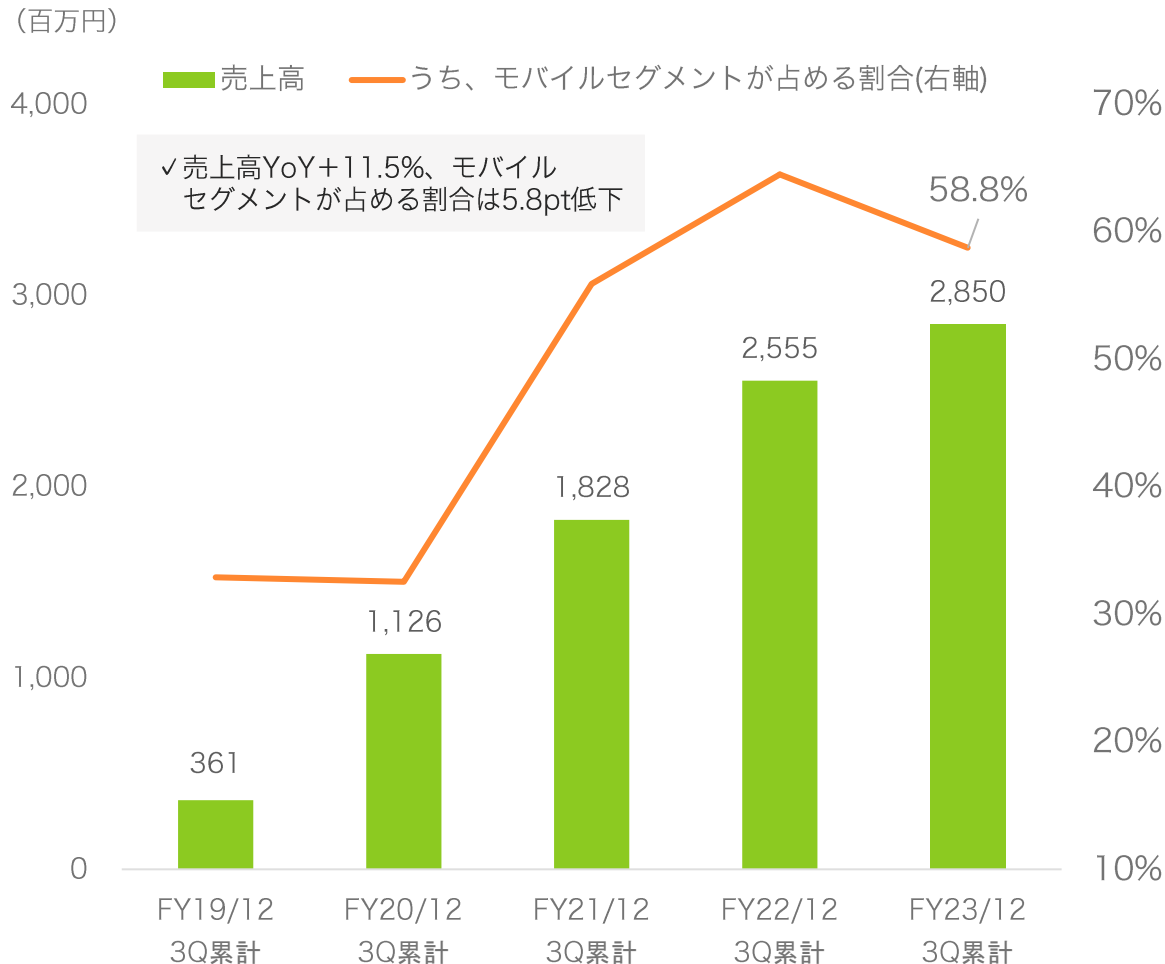
営業利益は横ばいも売上高は増加、サブスク売上が好調

	FY2022/12 3Q累計実績	FY2023/12 3Q累計実績		YoY
売上高	25.5億円	28.5億円	➔	+11.5%
営業利益	3.1億円	3.1億円	➔	△0.5%
ibisPaintシリーズ 累計DL数	2億 7712万件	3億 5137万件	➔	+26.8%
ibisPaintシリーズ サブスクリプション 売上	1.3億円	2.2億円	➔	+59.6%

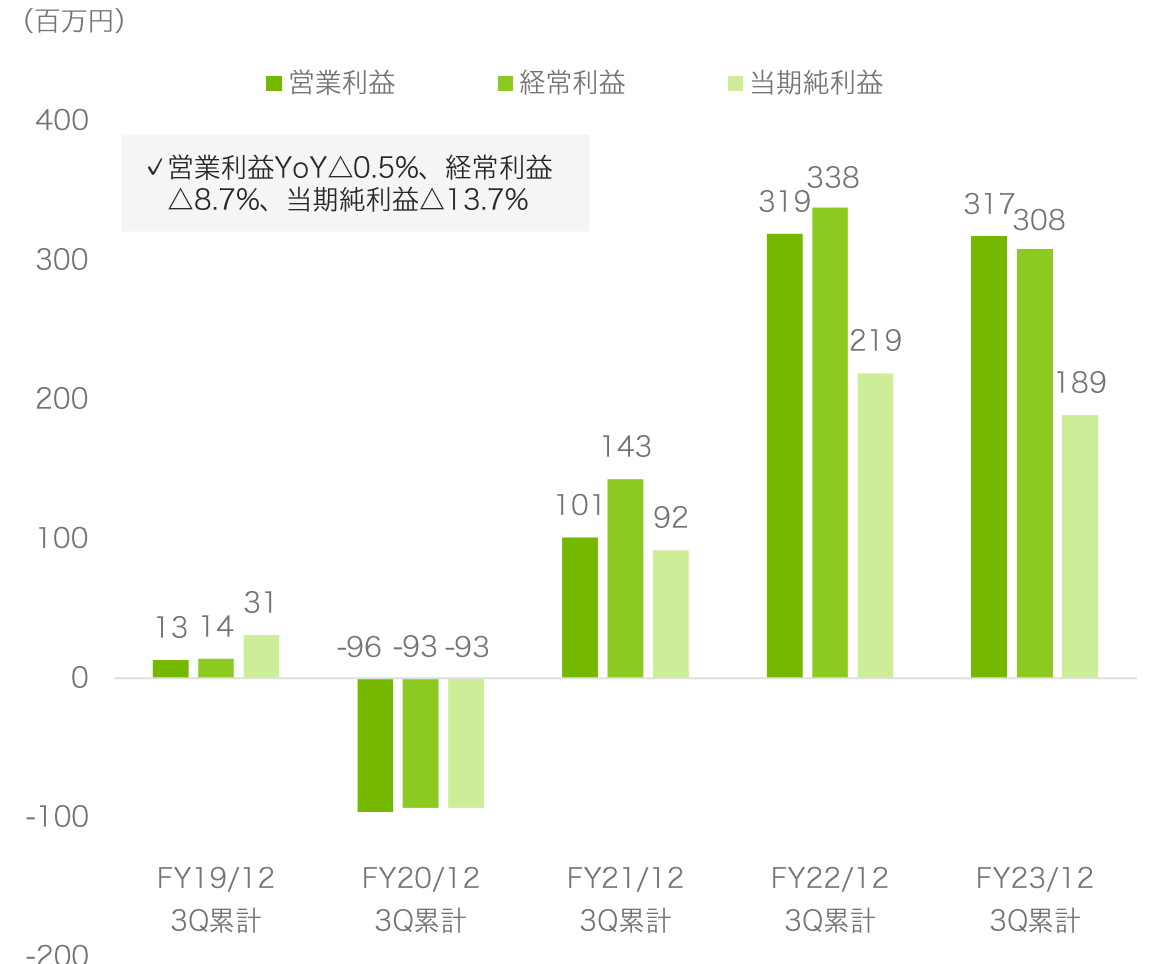
※ YoYは「Year over Year」の略で前年同期比を指す。次ページ以降も同じ。

売上高は継続的に増加、各種利益はほぼ前年同期並みの水準

売上高推移



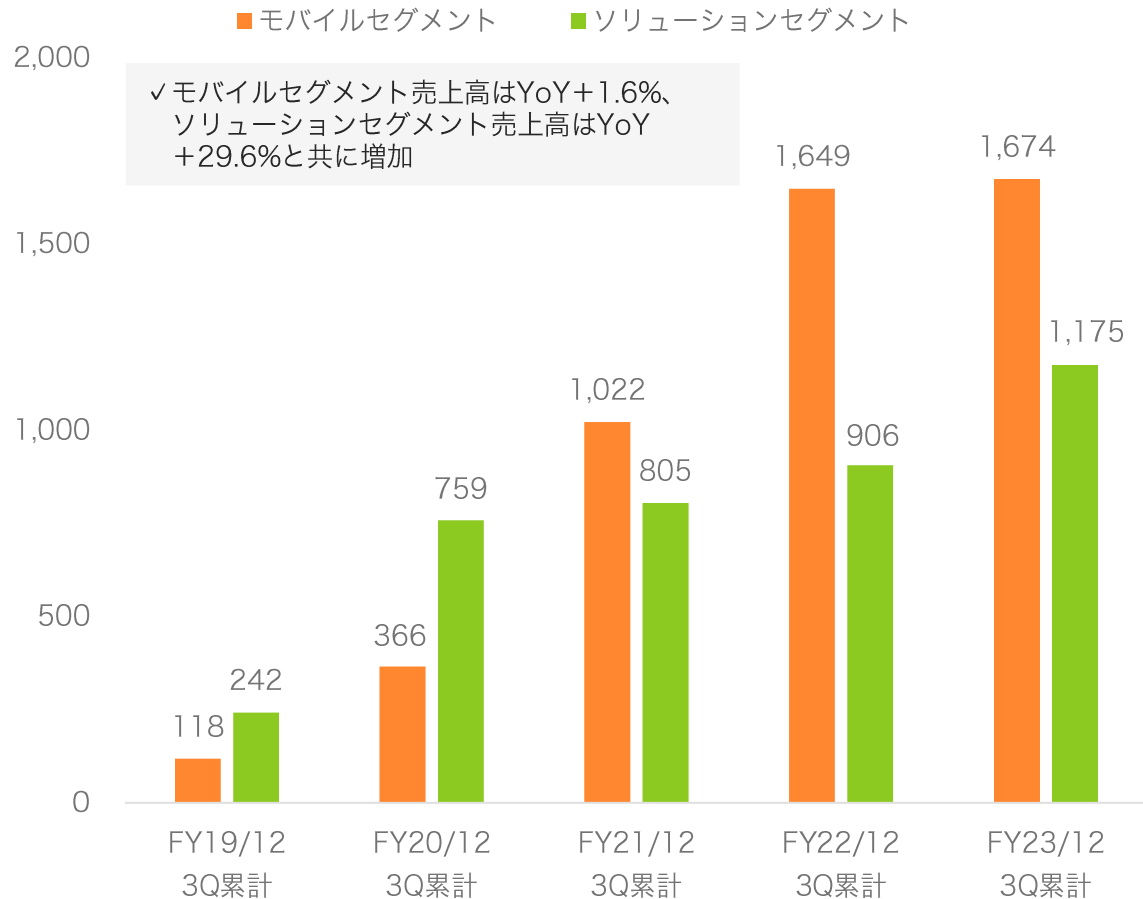
各種利益推移



売上高はソリューション、利益はモバイルが成長を牽引

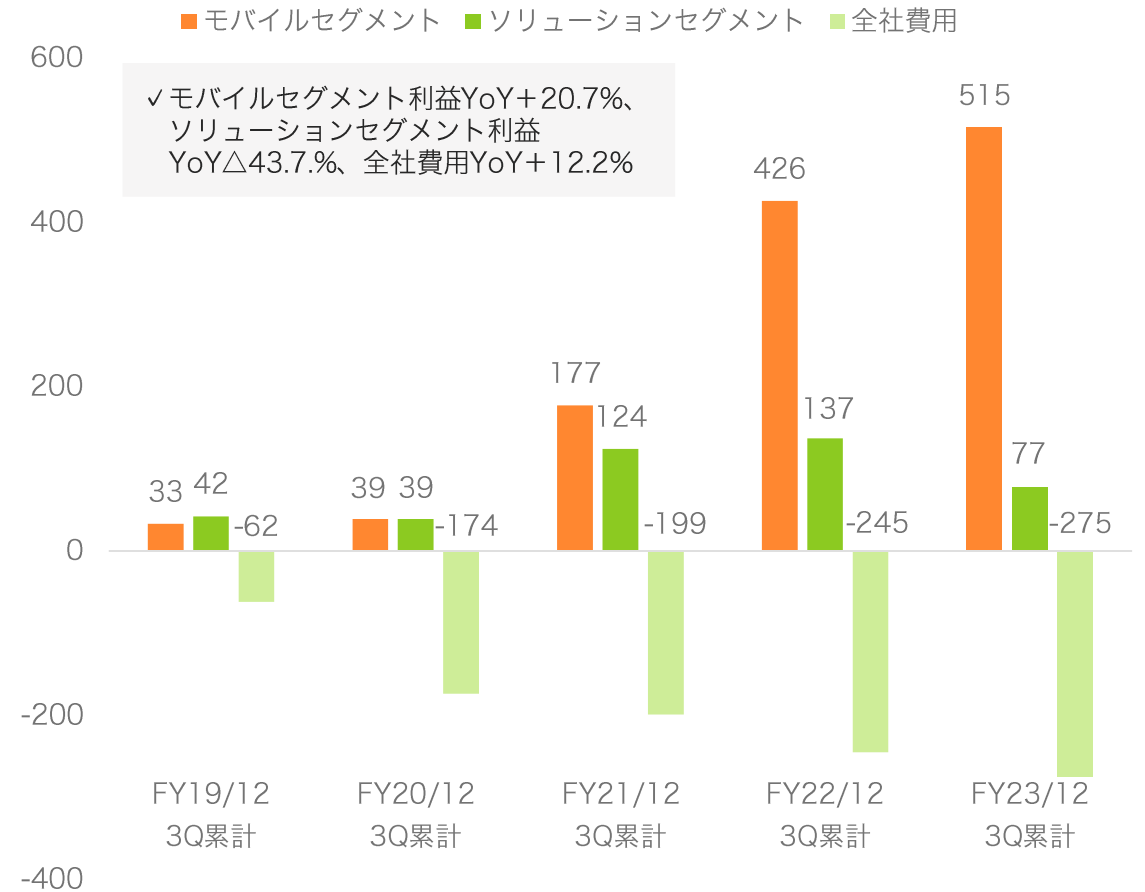
売上高推移

(百万円)



セグメント利益推移

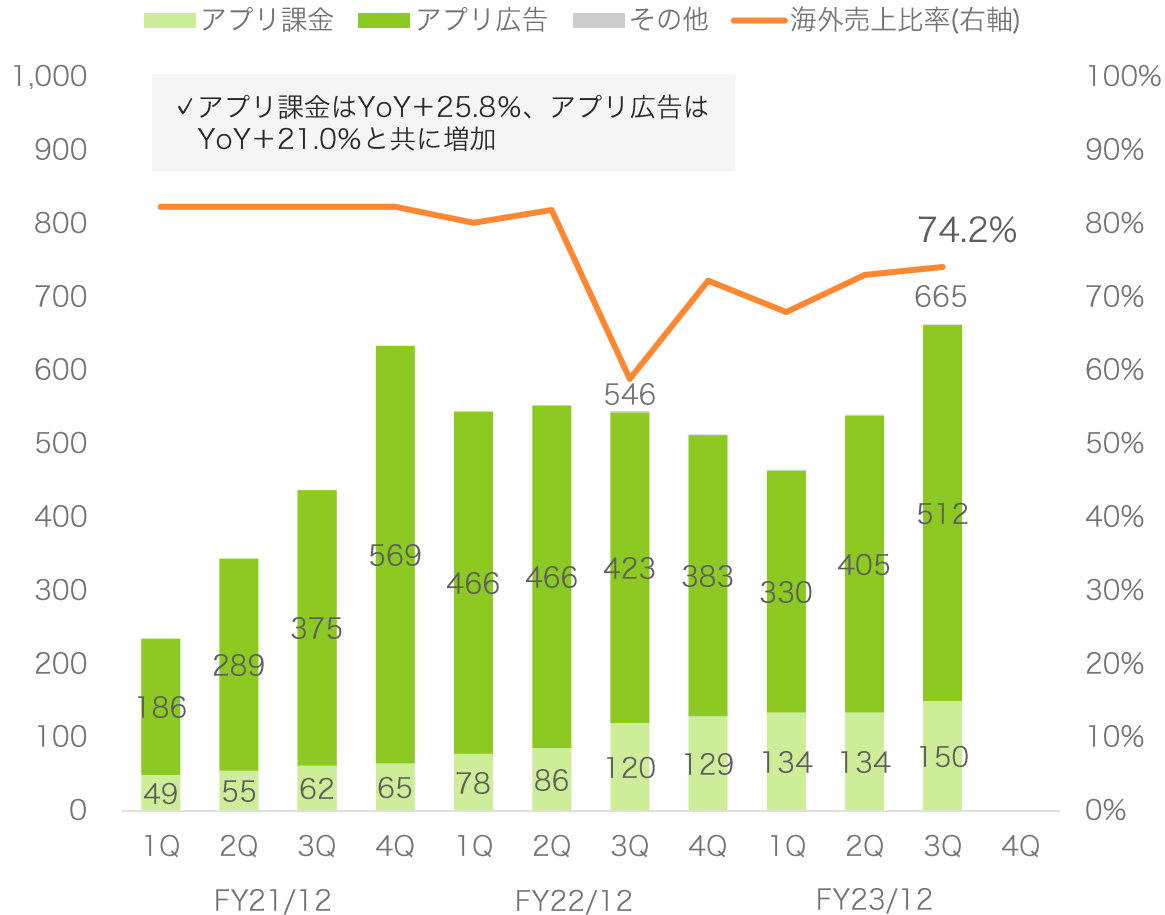
(百万円)



アプリ広告売上が回復基調、COVID-19特需の反動が薄まる

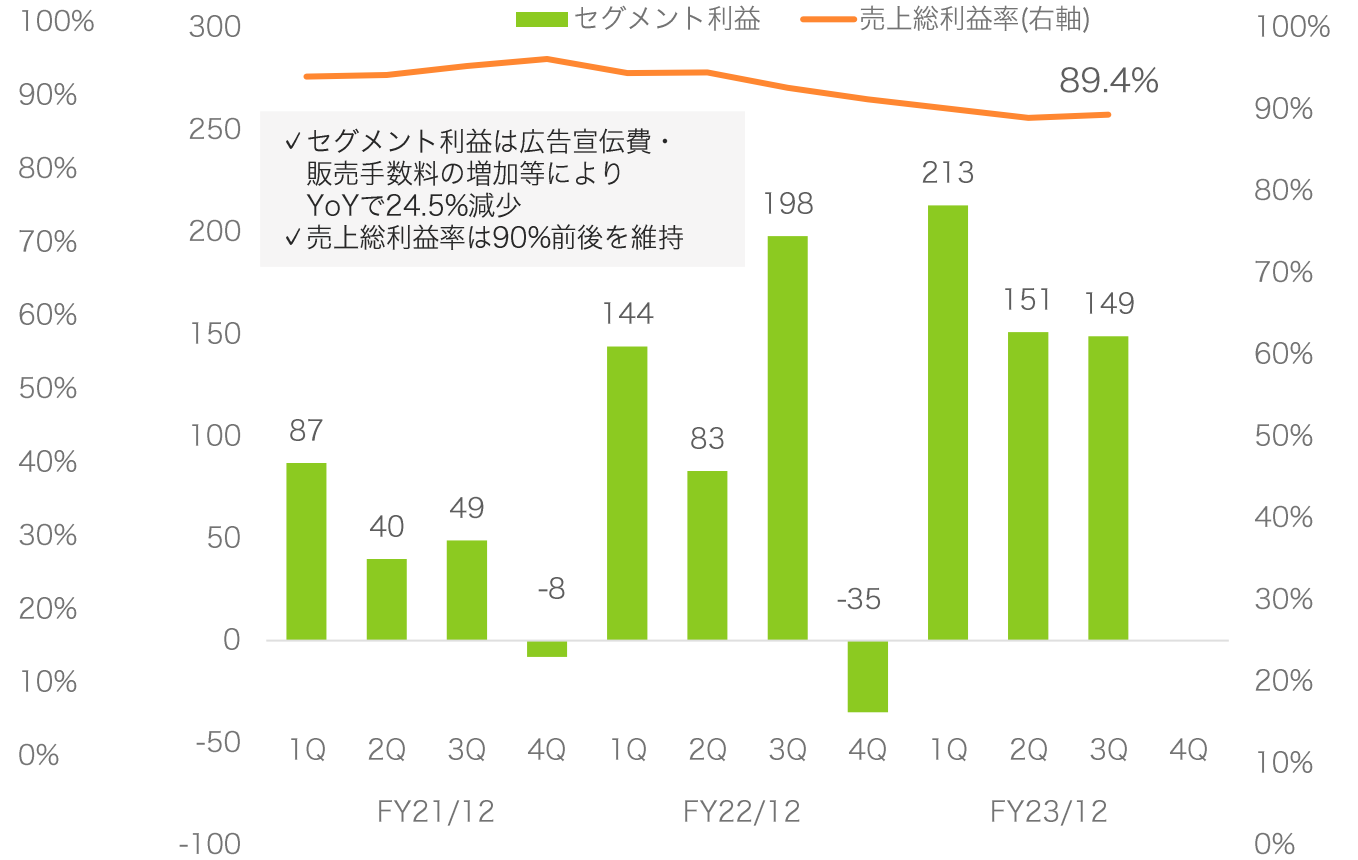
区分別売上高・海外売上比率推移

(百万円)



セグメント利益・売上総利益率推移

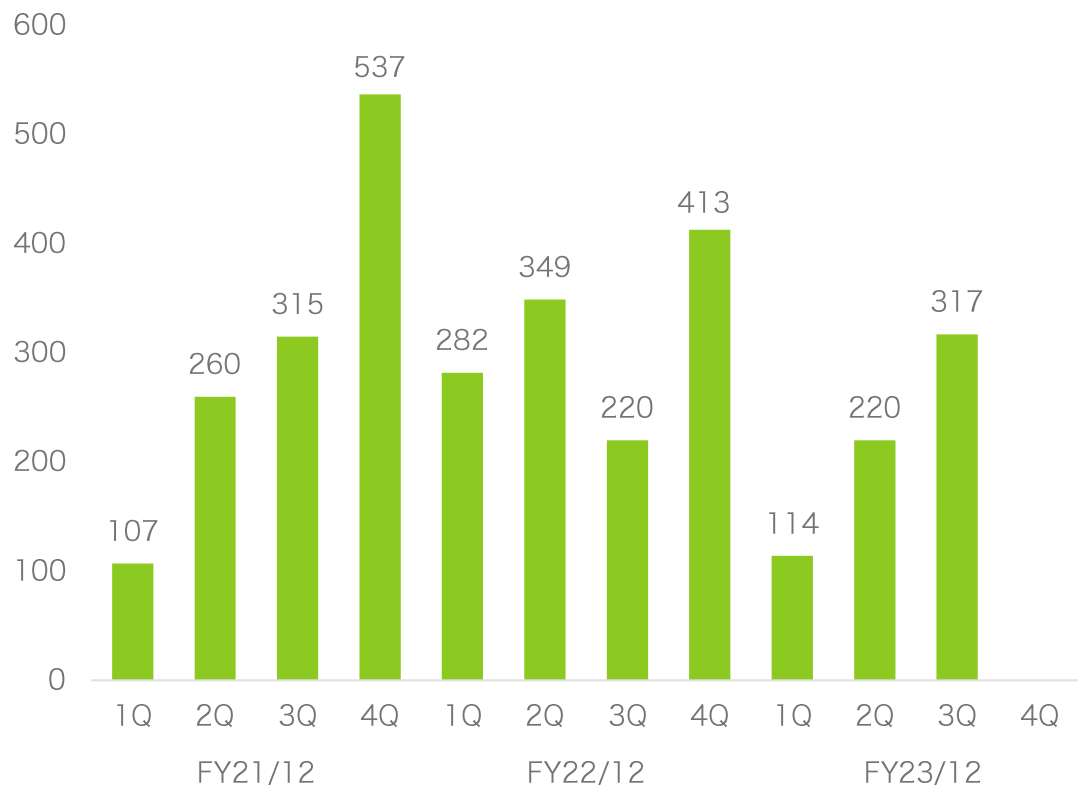
(百万円)



時機を見た広告投資を機動的に実行、採用投資は2Q迄で一巡

広告宣伝費推移

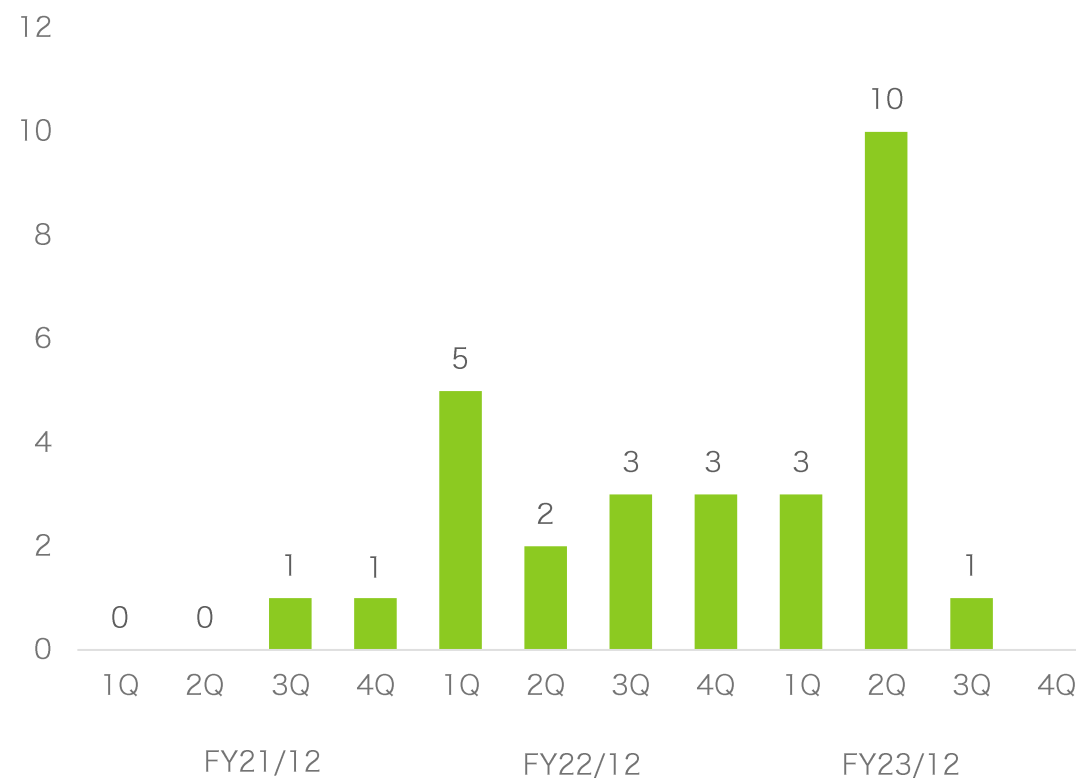
(百万円)



- ✓ 広告宣伝費はYoYで44.3%増加
- ✓ 引き続き回収率を重視した広告投資を継続

採用費推移

(百万円)



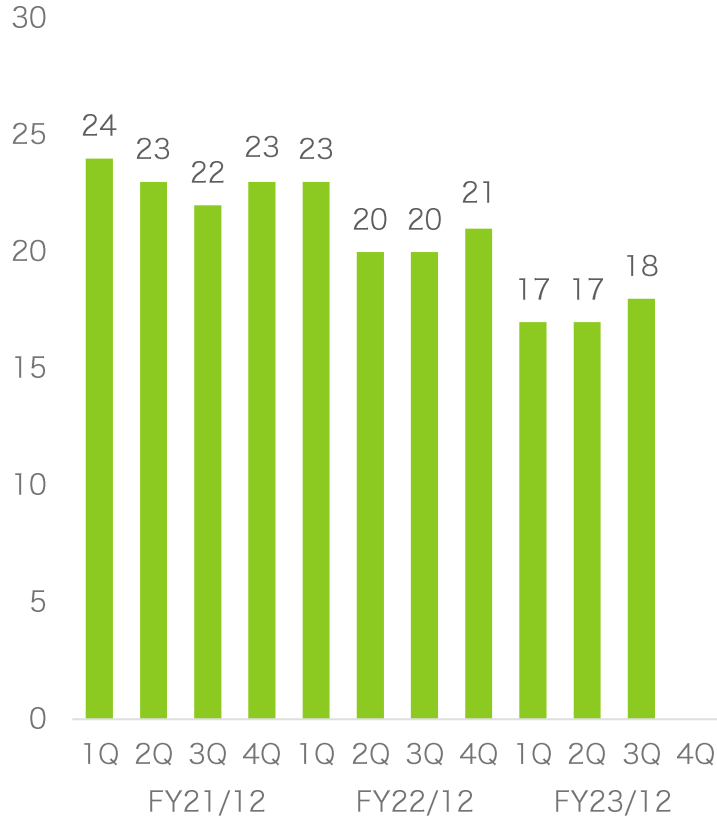
- ✓ 採用費はYoYで66.4%減少
- ✓ 新卒者採用が一服

※ FY2021/12 全Q、及びFY2022/12 2Q迄の実績数値は金融商品取引法による会計監査を受けていない。

DAUは増加基調へ、サブスク契約数は右肩上がりの成長

新規ダウンロード数

(百万回)



✓引き続き、回収率を重視した効果的な広告投資で新規ユーザを獲得

DAU (日次アクティブユーザ)

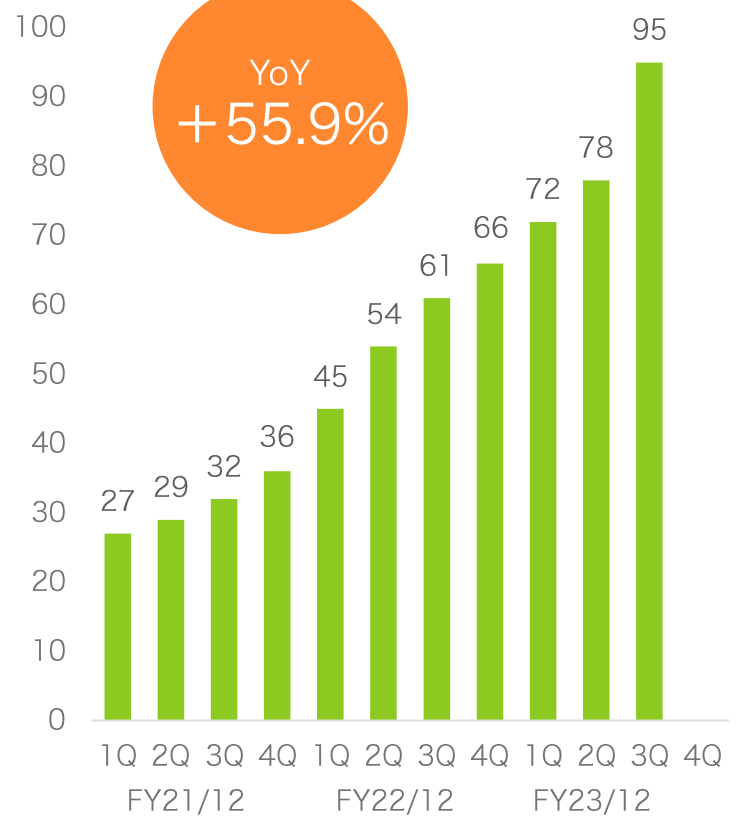
(百万人)



✓1Q迄は低調も、2Q以降緩やかに増加基調に転じる

サブスクリプション契約数

(千人)

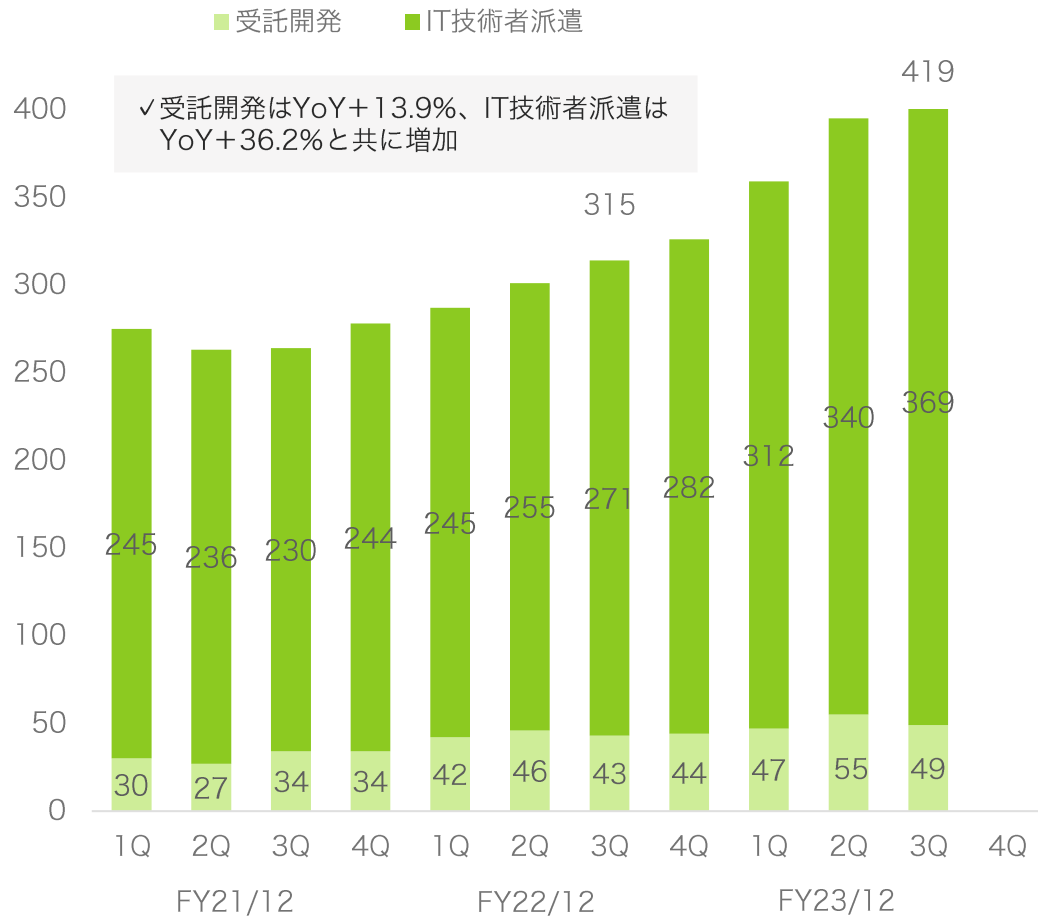


✓サブスクリプション契約数（プレミアム会員数）はYoY+55.9%と大きく増加

採用投資拡充の結果、利益はやや抑制も、売上高は順調に増加

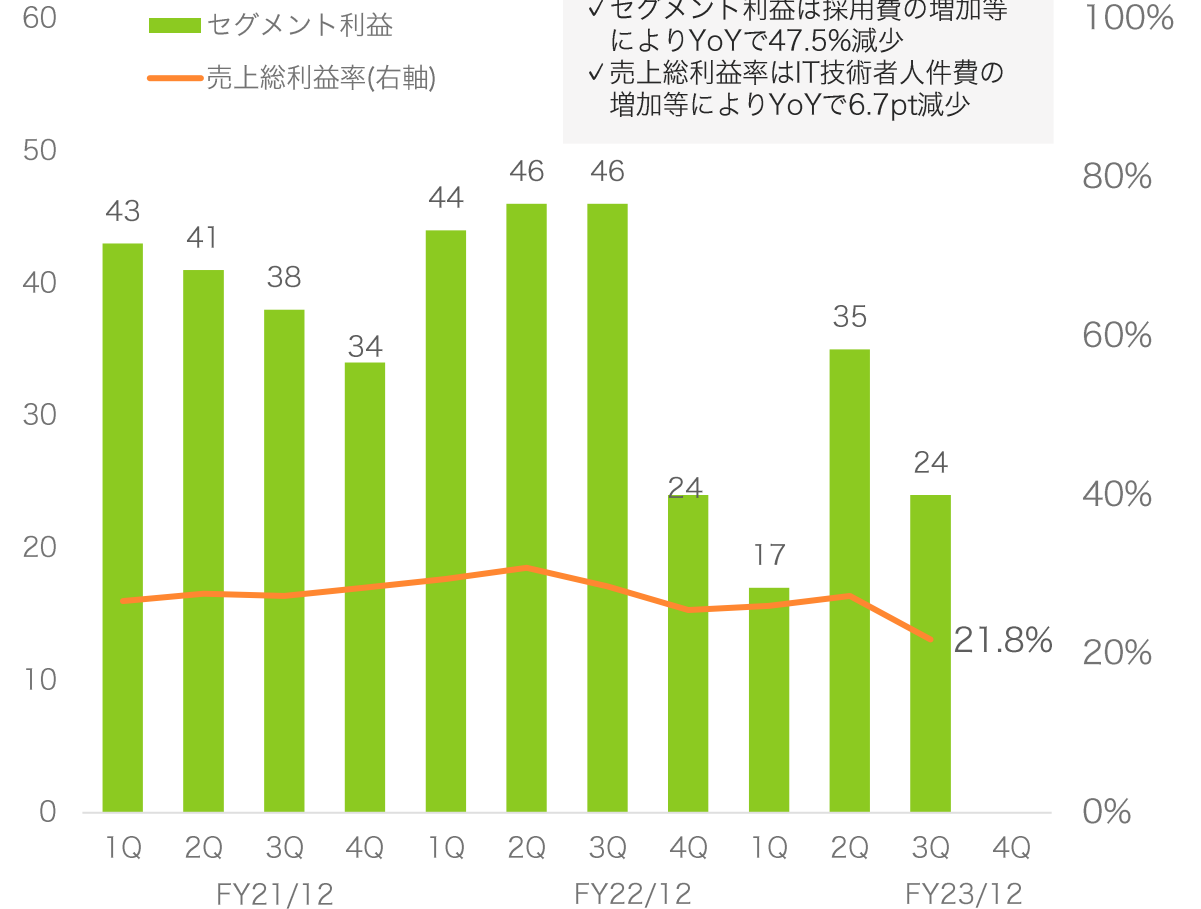
区分別売上高推移

(百万円)



セグメント利益・売上総利益率推移

(百万円)

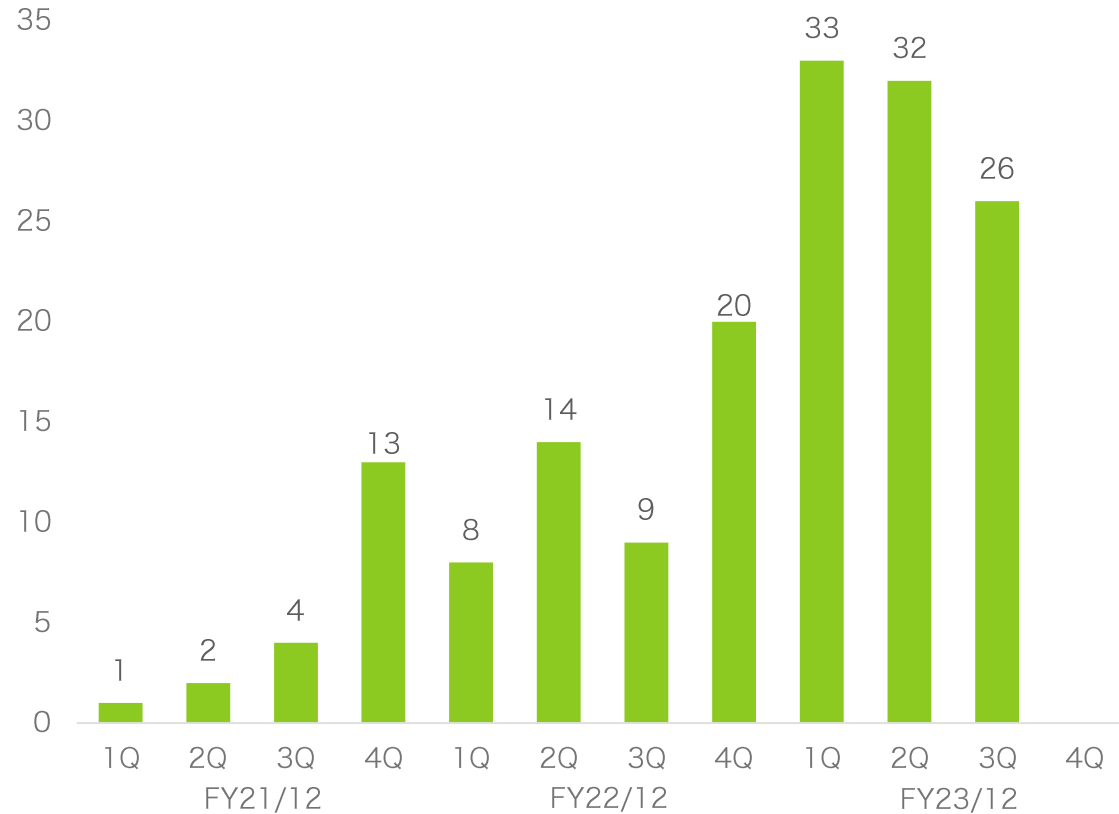


※ FY2021/12 全Q、及びFY2022/12 2Q迄の実績数値は金融商品取引法による会計監査を受けていない。

継続的に採用投資を強化（IT技術者を増強）し、着実な成長を目指す

採用費推移

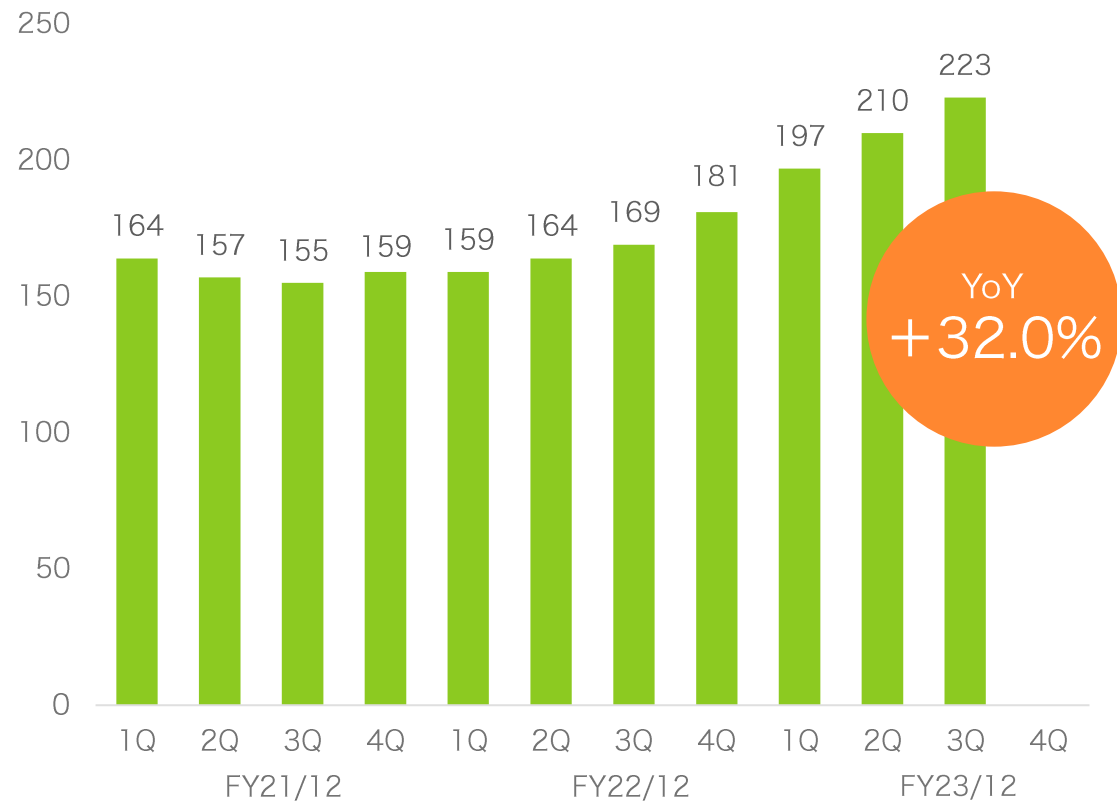
(百万円)



✓モバイルセグメントと同じく、高い専門性を持つ開発人材の獲得のために積極的な採用投資を推進

IT技術者数推移

(人)



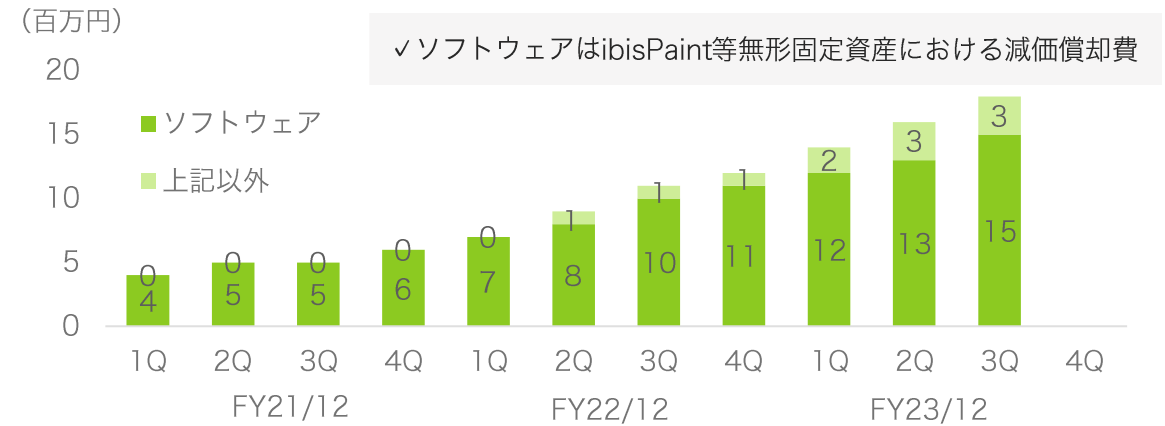
✓継続的に人員を増強し、安定的な収益基盤の更なる成長を目指す

今期設備投資の80%以上がソフトウェア無形固定資産

設備投資額推移



減価償却費推移



研究開発費推移

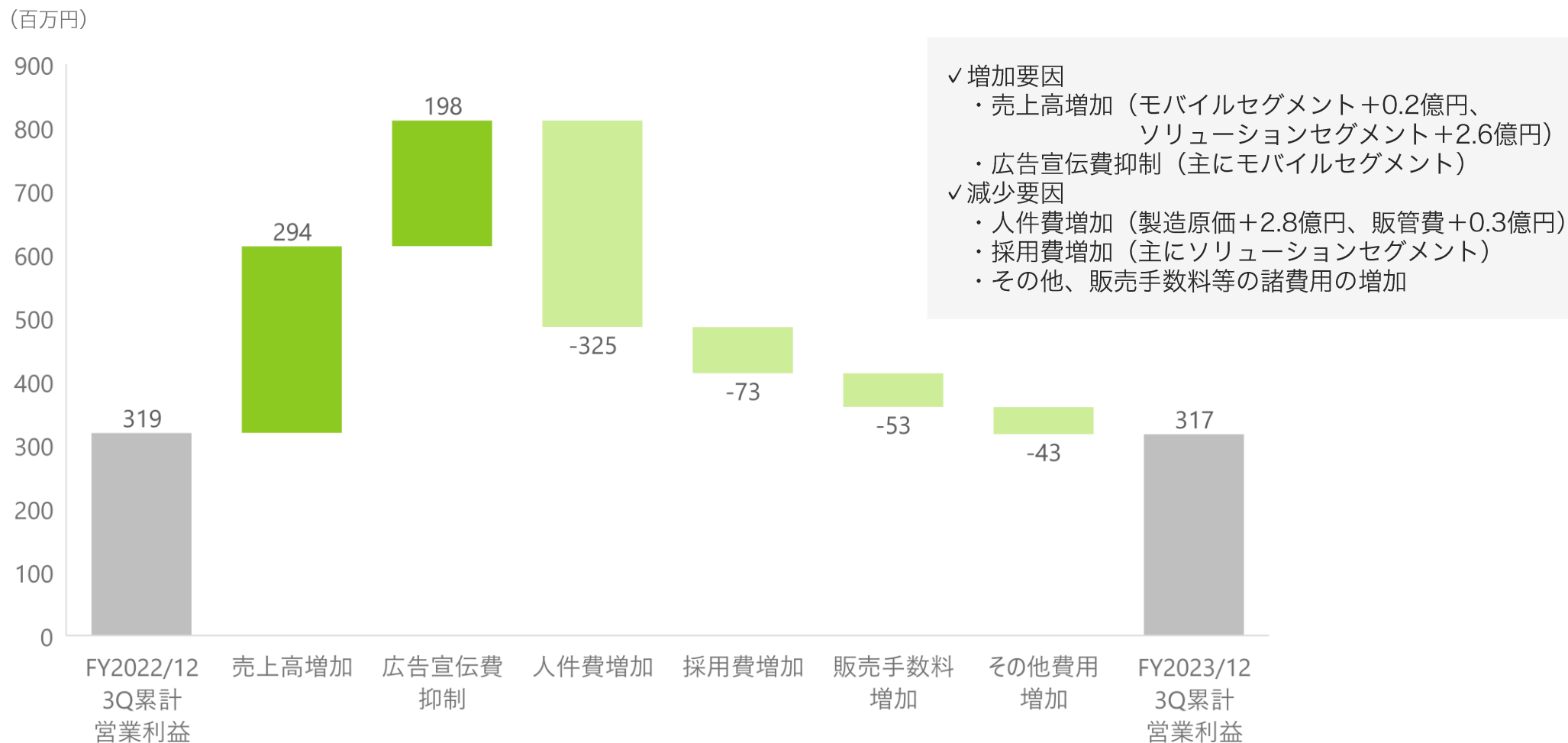


ドル円為替レート



売上高の増加と人件費等の増加が拮抗、YoYで営業利益は横ばい

営業利益の増減要因分析（FY2022/12 3Q累計とFY2023/12 3Q累計との比較）

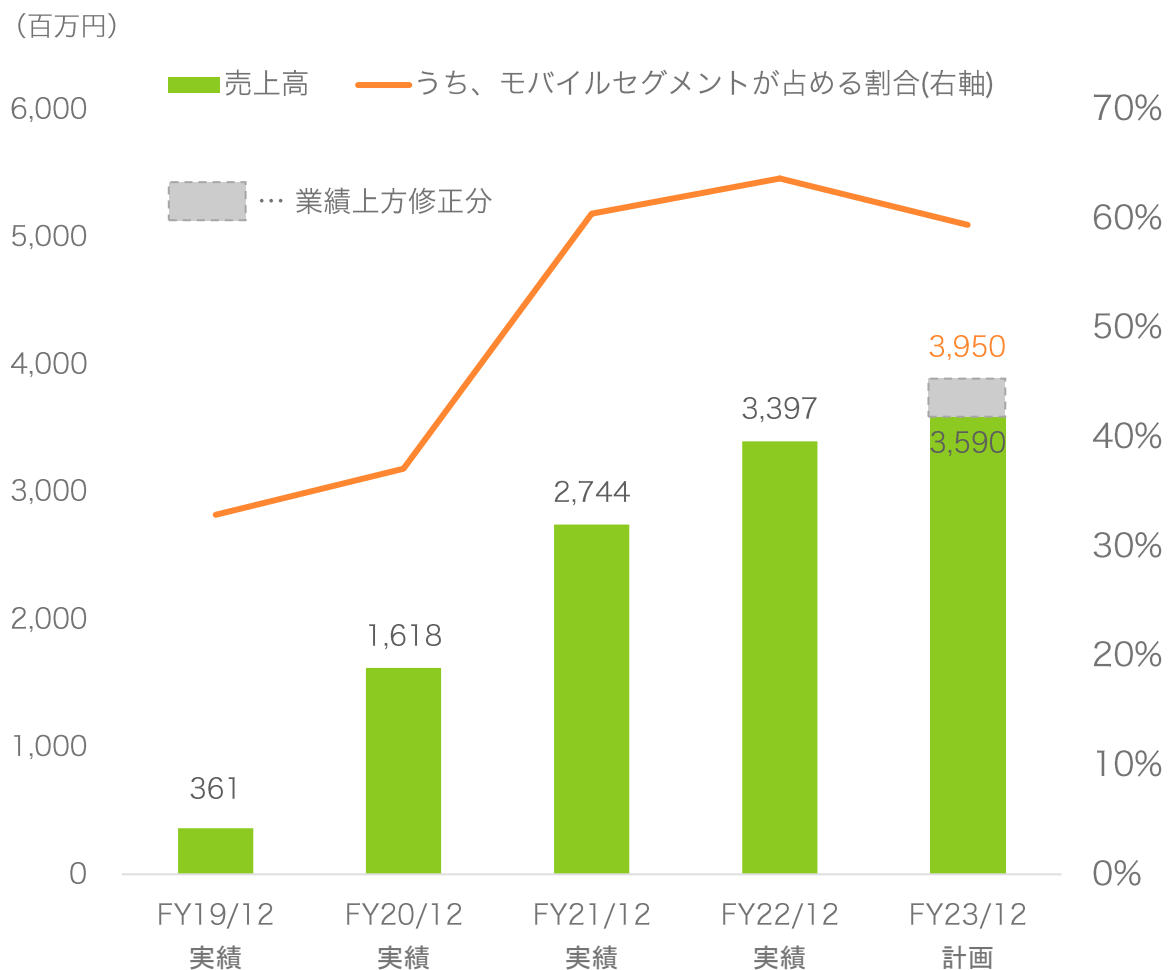


通期業績が当初計画を上回る見通しのため、業績予想を上方修正

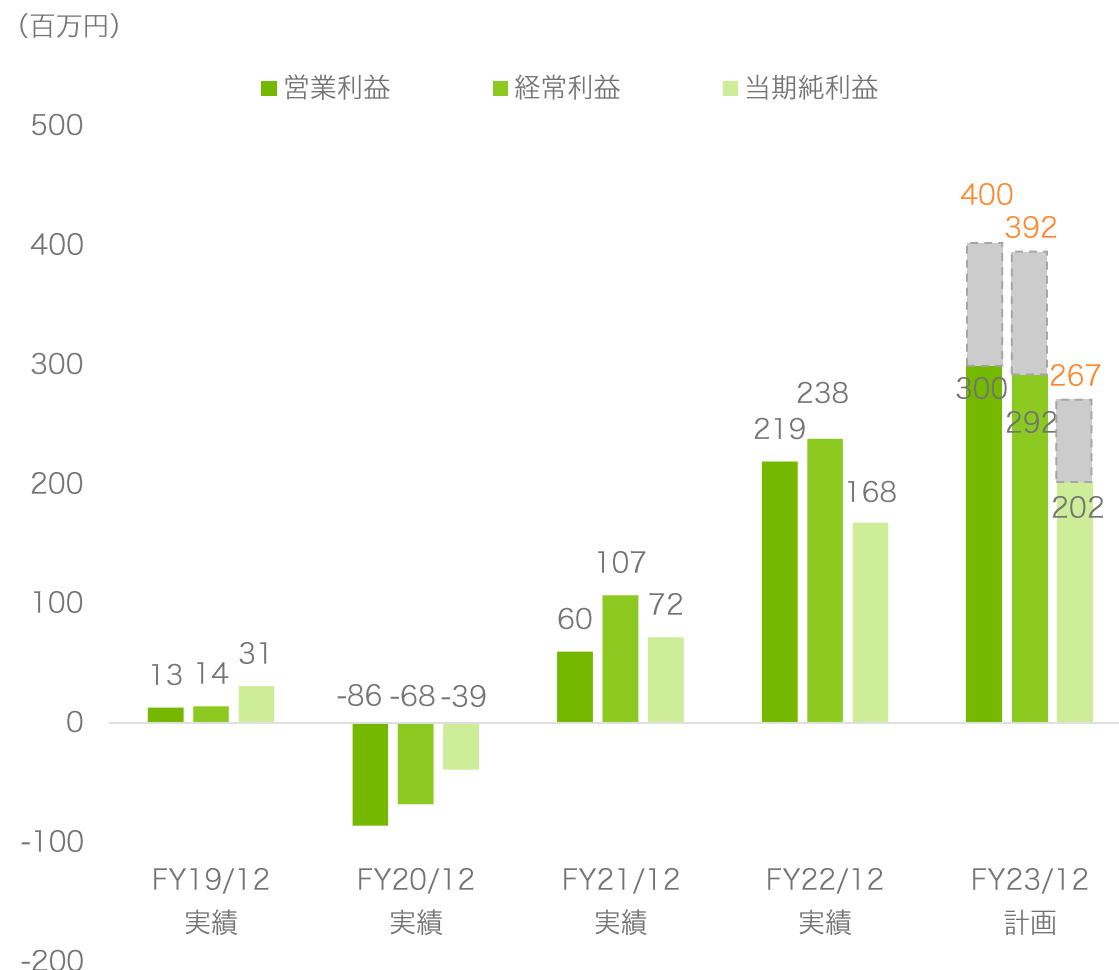
	FY2022/12 実績	FY2023/12 当初計画	FY2023/12 修正計画	YoY
売上高	33.9億円	35.9億円	39.5億円 (+3.5億円)	+16.2%
営業利益	2.1億円	3.0億円	4.0億円 (+1.0億円)	+82.2%
経常利益	2.3億円	2.9億円	3.9億円 (+1.0億円)	+64.8%
当期純利益	1.6億円	2.0億円	2.6億円 (+0.6億円)	+58.4%

売上高・各種利益ともに継続的な成長を目指す

売上高推移

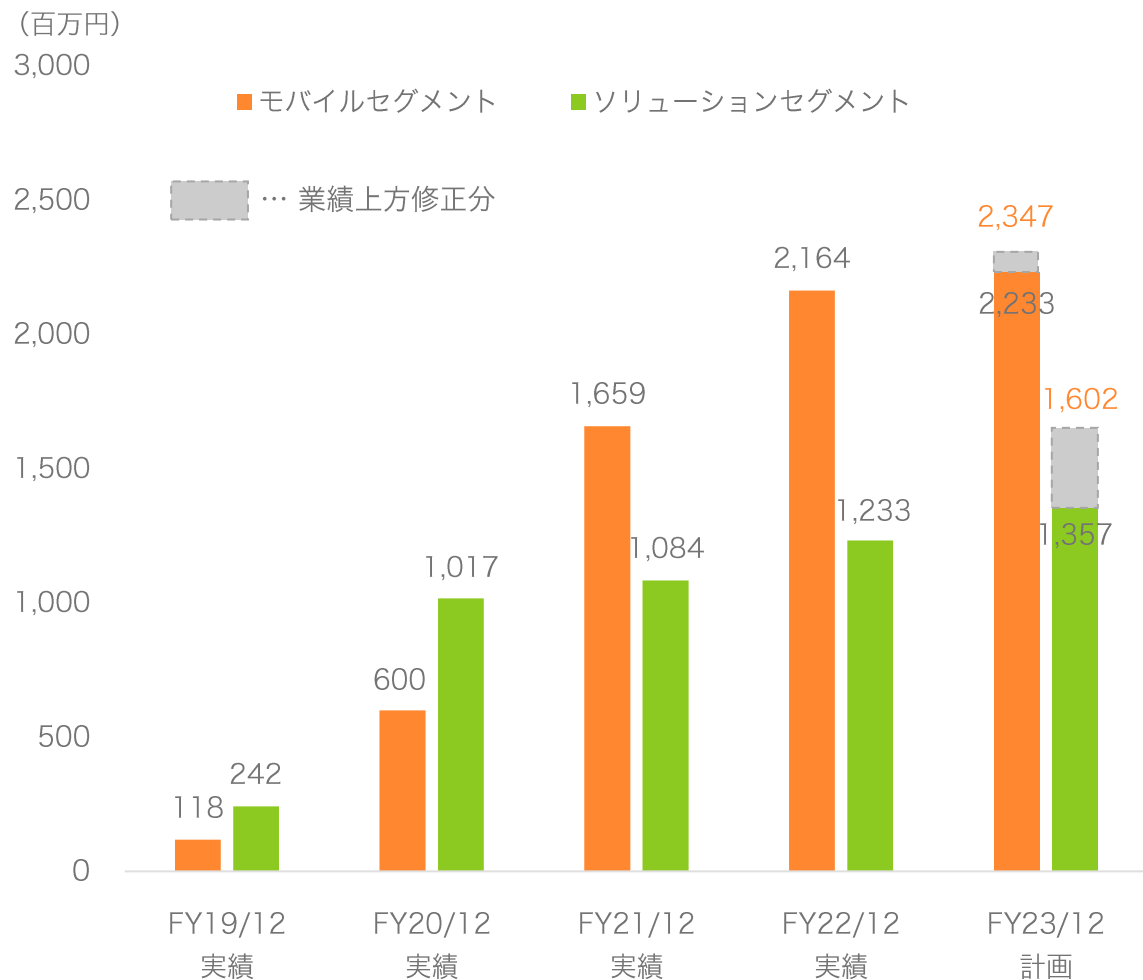


各種利益推移

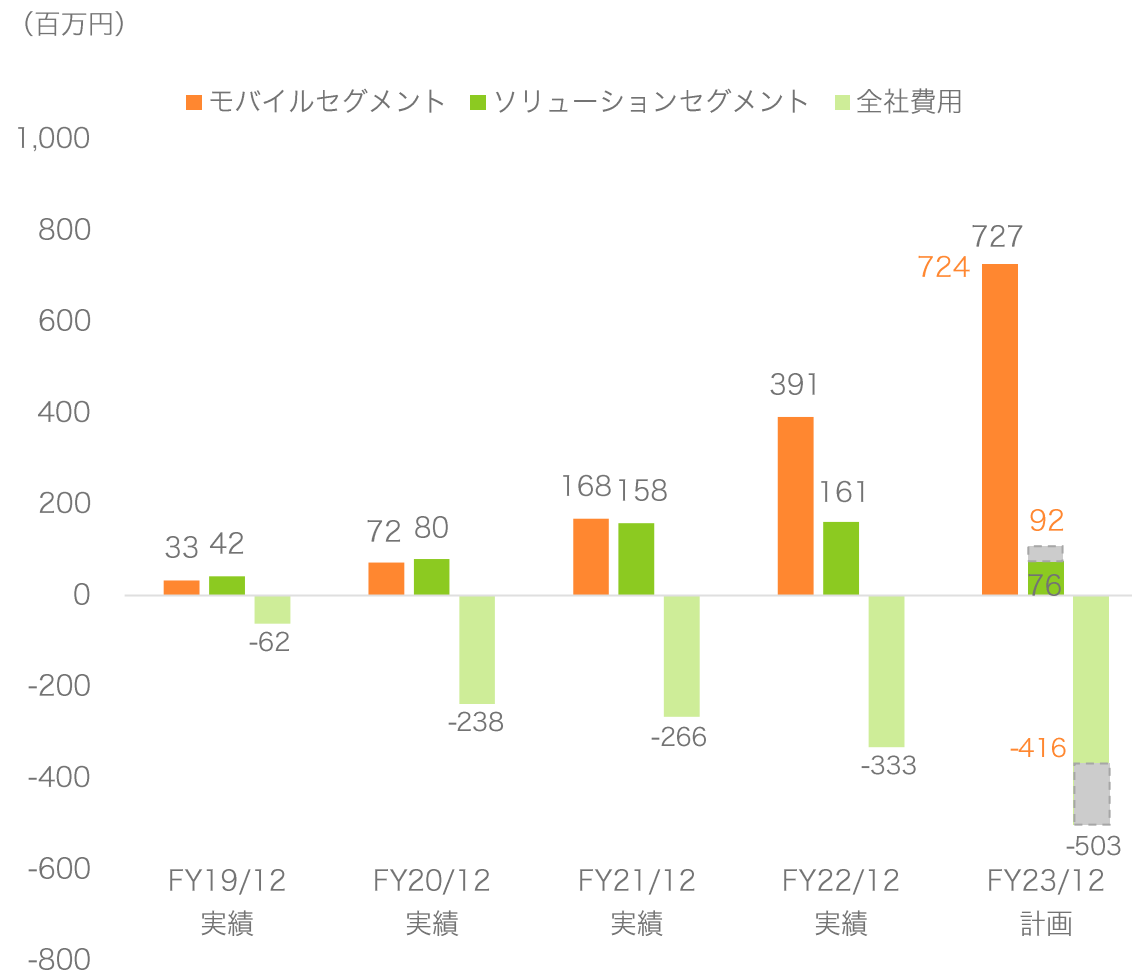


モバイルセグメントの成長性、ソリューションセグメントの安定性が両輪

売上高推移

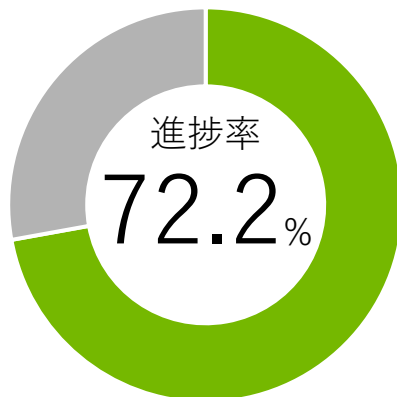


セグメント利益推移

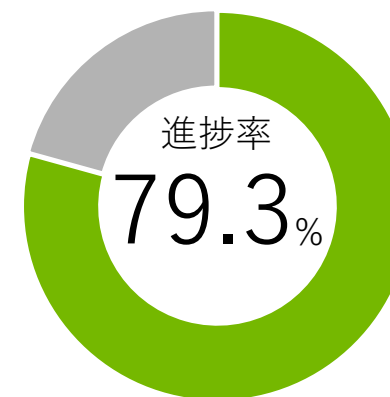


上方修正した業績予想に対し、概ね 3/4 程度の進捗率

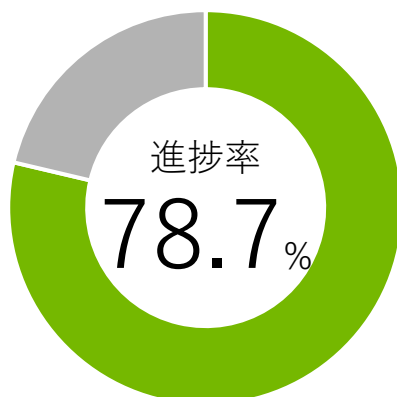
売上高



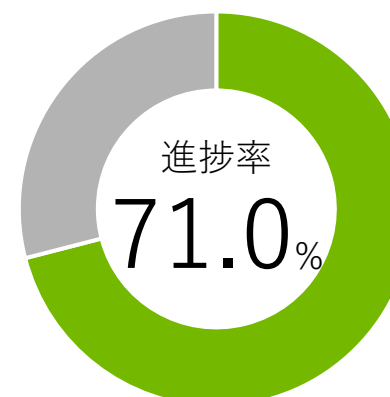
営業利益



経常利益



当期純利益



- ✓売上高・営業利益・経常利益は概ね3/4程度の進捗率
- ✓当期純利益は3Q時点で進捗率71.0%だが、通期では概ね修正計画どおりの着地を見込む

通期業績予想上方修正に伴い、配当予想を修正（増配）

	FY2022/12 実績	FY2023/12 当初予想	FY2023/12 修正予想	YoY
1株あたり 期末配当金	0円	10円	14円 (+4円)	—%

✓ 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けており、FY2023/12以降において、株主利益の最大化と内部留保のバランスを図りながら、業績動向及び財政状態等を総合的に判断した上で、配当性向15～20%を目安に配当を実施していく方針を掲げております。したがって、今回の通期業績予想の修正に伴い、当期の期末配当予想を1株あたり14円（前回予想から4円の増配）とすることにいたしました。

✓ FY2024/12以降も、引き続き、株主の皆様へに資する利益還元策を実施してまいります。

ibisPaint 大型アップデート Ver.11.0.0/ibisStorage リリース

アニメーション機能



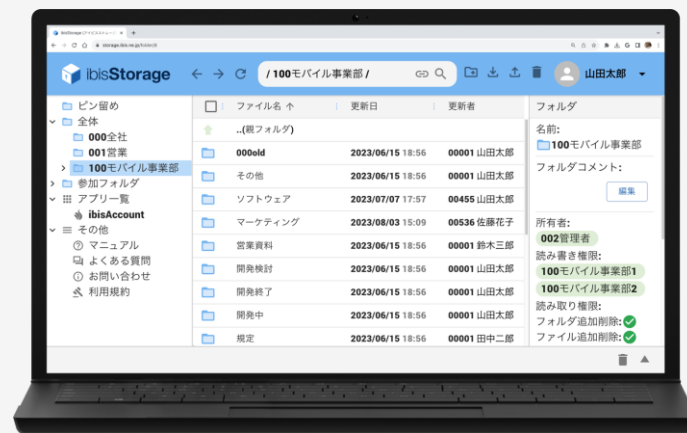
- イラストをパラパラ漫画の要領で連続再生し、アニメーションを作る機能
- 有料会員限定でフルHD動画が作れるなど、無料会員との差別化に成功
リリース月の有料登録が前年同月比約3倍で増加

AI背景透過



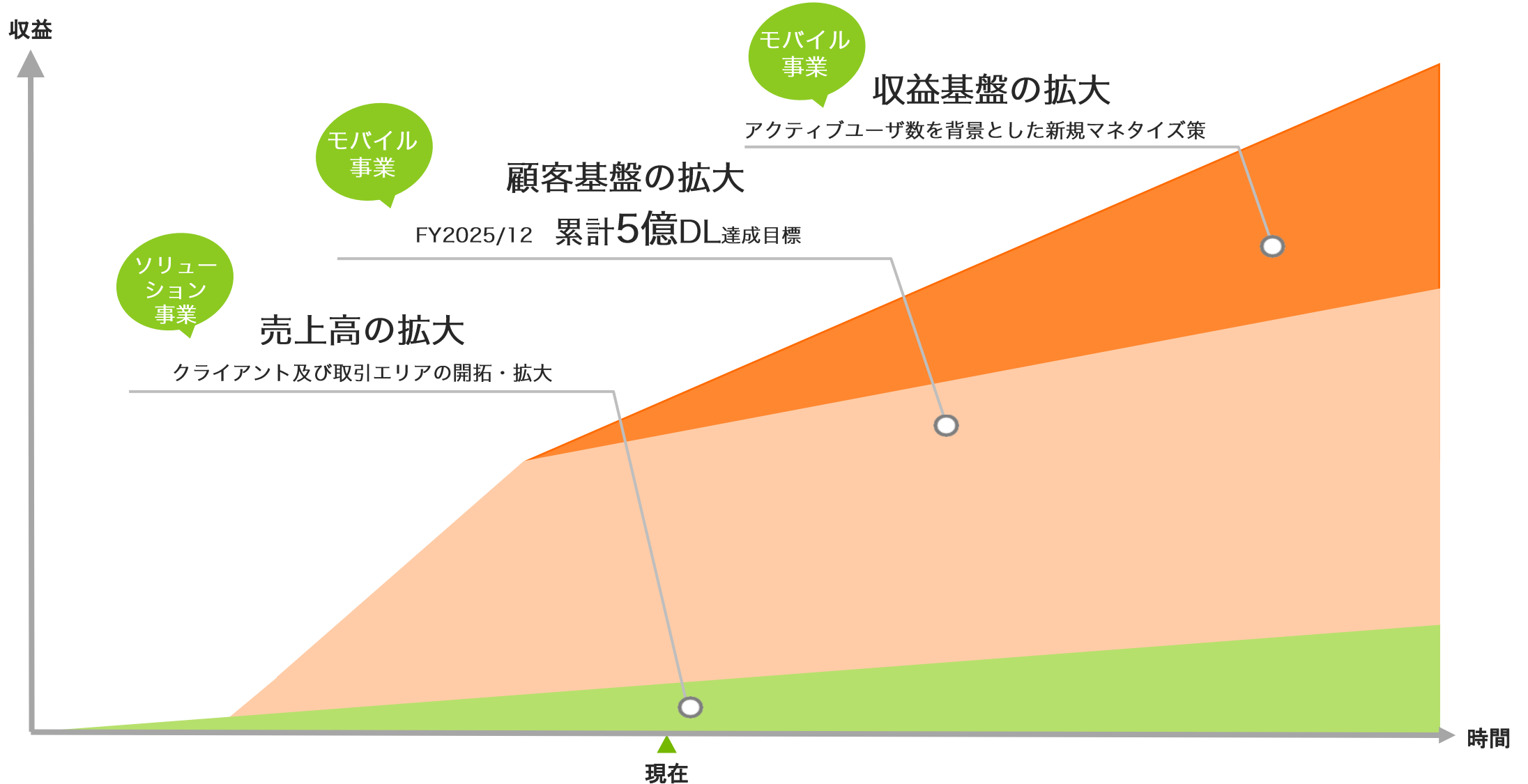
- 人工知能 (AI) を用いて人物や静物などの対象物と、背景の切り分けを行い、背景のみを透過
- AIの誤認識に対する微調整を指でできるようにスライダーを採用するなど、モバイルに最適化したUIがユーザに好評

ibisStorage



- 「どの端末から、誰がアクセスするか」に基づくゼロトラストセキュリティ対応のストレージサービス
- 改正電子帳簿保存法により2024年1月1日から義務化される、帳簿や書類の電子データによる保存に対応した新機能もリリース

安定収益の拡充と成長基盤の伸長の両輪により、継続的な成長を目指す



別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しており、当社はそのような一般に公知の情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。



delivering **WOW** experience on mobile